



KUZUHA ROTARY CLUB Weekly Club Bulletin

2013～14年度 北川会長テーマ

『 自 他 敬 愛 』

～より愛情に満ちた思いやりのある奉仕活動を!!～



第1905回 例会

2014年4月9日(水) くずはゴルフ場

今日の歌

「奉仕の理想」

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ
我等のロータリー

今月の予定

4/16 (水)	・新旧ガバナー補佐訪問 新旧合同クラブ協議会 ・被選理事会
4/23 (水)	・卓話 上山芳次会員 ・40周年実行委員会 ・次年度規定審議 委員会
4/30 (水)	定款により休会④

3分間スピーチ

4/9	木崎信也 会員
4/16	—
4/23	栗津直晶 会員

- 12:40開会点鐘
- 友情と親睦の握手
- 国歌斉唱
- ロータリーソング
「奉仕の理想」
- お客様紹介
- 会長の時間
- 幹事報告
- 委員会報告
・出席状況報告
- 3分間スピーチ
木崎信也会員

- 卓話「ロータリー雑誌月間に因んで」
山本一郎 広報委員長
- その他
・ニコニコBOX報告
- 13:30閉会の点鐘
- 本日の会合(敬称略)
<定例理事会>
北川、原田、高島、小北、日野
三木、橘、山口伊、嶋田、米田
木崎、西田、重田
<規定審議委員会>
宮田、山口尚志、小北、原

おめでとうございます!

4月 入会記念日	4月 お誕生日
今中七郎会員(S49年)	原田武夫会員(9日)
上山芳次会員(H10年)	林 祐弘会員(13日)
	栗津直晶会員(17日)

長尾駅前時計台寄贈式

2014.3.29(土) 於: JR長尾駅前広場



3月26日例会【会長の時間】



R 本日の例会も、あいにくの雨となりました。早朝より献血キャンペーンのチラシ配布、9名の会員に参加頂き実施致しました。渡す側よりも受け取られる側は、傘の折りたたみと手荷物でうまく配布が出来ない状態でしたが、献血への呼びかけをして頂きました。実施日は29日(土)ですが、長尾駅前竣工式での時計台寄贈式と重なっていますのでわかれての参加協力をお願い致します。

長尾駅前時計台の寄贈につきましては、先週の例会で北村会員より説明をされました内容を週報に記載しましたので、特に欠席された会員はお読み下さい。

21日(お彼岸の中日)には枚方RCとの親睦ゴルフ大会、週報の一面に写真と共に結果もありますが、晴れているかと思いきや雨や小雪の舞う本当に寒い日でした。枚方RCの顔ぶれも変わって参りました。5年未満の会員が全体の3分の1以上とお聞きました。今後もゴルフに留まらず親睦と交流を続けて頂きたいと思えます。

22日(土)には気仙沼RCから今泉会長はじめ5名の会員が来訪されました。春の選抜高校野球に宮城を代表して出場する東陵高校の応援が主目的ではありませんでしたが、来阪の声かけがありましたので國田東北復興支援委員長、日野幹事で交流会を企画、次年度を含め18人の出席を賜り、親睦を深めることが出来ました。

本日の卓話は、田中一真会員です。宜しくお願いします。

【卓話】「犬の処分 まど・みちおさんの追悼」 田中 一真 会員



犬・猫が殺処分をされている現状をご存じでしょうか？環境省の発表によりますと、平成23年度で犬・猫が17万4,743匹殺処分されました。この数字は皆様にとって、どのように感じられますか？私としては、この数字は膨大な数だと思うのですが、この殺処分の数は、過去と比べるとかなり減少してきています。平成15年度では、44万匹が、殺処分されました。これは枚方市の人口をゆうに上回っている数です。平成元年にまで遡りますと、101万匹が殺処分されました。こういった日本の残酷な社会現象を、諸外国からも批判があり、日本には犬や猫を殺すアウシュヴィッツがあると云われたほどです。

現在、犬・猫の殺処分は保健所や各都道府県の動物愛護センター、動物管理センター等と呼ばれる所で行われています。動物愛護センターなどと聞くと、捨てられた犬や猫を保護して愛護してくれる施設だと思いがちです。しかし実際は、一定期間捨て犬や捨て猫を保護した後、殺処分を行う施設なのです。保護された犬や猫は、原則3日以内に飼い主から返還要求が出されない限り、殺処分されてしまいます。犬や猫を殺すための設備、死体を焼却するための燃料費、及び人件費は全て税金でまかなわれます。

一昔前はバットによる撲殺(ぼくさつ=脳天をバットで叩き割ること)、また劇薬(げきやく=硝酸ストリキニーネ)を用いた毒殺が主流でしたが、コストや職員の安全性を考慮して現在ではほとんどの自治体において、炭酸ガスにより窒息死させられています。殺処分される犬は、最初にガス室へと続く誘導通路に出され、後ろから壁が迫ってくるような追い込み機にかけられて、ガス室に追いやられます。ひしめき合う三十頭の犬たちの表情は、最後まで人間を疑っているようには見えません。

犬の37%、猫の32%が10～15分前後で死に至るといわれています。子犬や子猫の場合は呼吸がいちじるしく浅いため、死に至るまで30分から60分かかるとい調査結果があります。つまり、短くても10分以上、長い場合は1時間近くも酸素欠乏の状態でもがき苦しんで死んでいきます。死の直前、エサに睡眠薬を入れるなどの処置は一切行われておらず、動物達には多大な苦痛を与えて殺すこととなります。これは決して安楽死ではありません。

何故、ガス処分なのか？ 職員への安全面と、一回で、多数を処分できるコスト的な問題だと言われています。一酸化炭素の方が苦痛なく殺せるという説もありますが、ガスが人間へ悪影響を与える可能性を考慮して、二酸化炭素となっているそうです。また、捕獲されている動物に首輪が付いている場合、もしかしたら飼い主の住所などが書かれているかもしれませんが、外して確かめるようなことはしません。これは、外そうとする時に職員が咬まれるかもしれず、その犬が狂犬病にかかっている可能性があるからだそうです。ガス殺された後で、はじめて死体から首輪がはずされるのです。

では、一体なぜこのような殺処分が過去から行われてきたのでしょうか？我が国にて施行されている『動物の愛護及び管理に関する法律』(略称動物愛護法)の第十八条には、こう規定されています。「都道府県又は政令で定める市は、犬又はねこの引取りをその所有者から求められたときは、これを引き取らなければならない」 飼い主が飼えないから不要として、まるでゴミのように持ち込んだ犬猫を、保健所や動物愛護センターが引き取っているのは、この条文があるからに他なりませんでした。

何故このような条文が設けられたのかという、不要になった犬猫を引き取らなければ、街が野良犬、野良猫だらけになってしまう、人間に危害を加える恐れがあるというのが、一般的な見解です。

この動物愛護法は平成25年の改正で、飼い主が犬や猫を最期まで飼育する責務を定められました。また、飼い主がペットの高齢化や病気を理由にして、保健所などに引き取りを求めても、拒否できるように改正されています。

このような法改正や、世論や動物愛護センターなどの批判から、昨今の動物愛護センターは、犬を持ち込んできた飼い主を説得したり、新たな飼い主を探す里親会などを積極的に開いているところもあり、以前に比べて少しずつではありますが、動物愛護センターは、動物を愛護する姿にシフトしてきています。このようにして、犬を飼えないからと言って保健所に持ち込む人もたくさんいましたが、犬や猫を捨てる人もたくさんいます。山や林、人里離れたところに連れていき放置するのです。

このように捨てられた犬も、ほぼ間違いなく行政により捕獲されてしまいます。これは『狂犬病予防法』の第六条により街を徘徊している犬がいたら、狂犬病予防のため捕獲しなければならないと定められているからです。たとえ徘徊している犬が首輪をしていたとしても、狂犬病予防の注射をした犬とは認められず捕獲されてしまうのです。

自分の飼い犬がいなくなった場合は、最寄りの保健所を探せと言われる理由はここにあります。犬を飼われてる方は、万が一犬が迷子になったときのために、住所や連絡先などを書いた迷子札などをあらかじめ首輪に装着しておくことをお勧めします。迷子で収容された犬の多くは、収容期間内に飼い主と再会することはほとんどできません。

話は動物愛護法になりますが、そもそもこの法律は決して新しい法律ではありません。昭和48年に施工されています。第2条の基本原則には「動物が命あるものであることに鑑み、何人も動物をみだりに殺し、傷つけ、又は苦しめることのないようにするのみでなく、人間と動物が共に生きていける社会を目指し、動物の習性をよく知ったうえで適正に取り扱うようにしなければならない」と、定められています。

今日までの日本は、ペット産業、ペットブーム、飼い主のモラルなど、さまざまな原因があったとはいえ、莫大な数の犬や猫を殺処分してきたことは、本当にやむを得なかったことなのでしょう。少しでも今後は殺処分の数が減っていくよう、皆様にまずはこの現状を知っていただきたいと思い卓話にさせていただきました。

話は最後になりますが、先月2月の終わりごろ歯医者で診察を待っていた時、「ぞうさんぞうさん おはながながいのね～ そうよ～かあさんもながいのよ～♪」と待合室のテレビから懐かしいメロディーが流れてきました。この歌はよく知っていましたが、初めて故まど・みちおさんという方が作った歌だと知りました。それは、テレビで訃報を知らせるニュースでした。まどさんは先月2月28日老衰のため104歳で亡くなりました。

子どもの頃何度となく口ずさんだこの歌を、私はたんなる童謡だと思っていませんでした。この訃報を伝えるテレビで、生前のまど・みちおさんが語った解説によると、この歌は「象の子が、鼻が長いとけなされている歌」だということです。つまり「ぞうさん ぞうさん お鼻がながいのね」とは決して親しみをこめた子象への呼びかけではなく「へんな鼻、長くてみっともない鼻」とけなされた詩だそうです。けれども子象はけなされても、しょげたり落ちこんだり泣いたりしません。むしろ元気に明るく「そうよかあさんもながいのよ」「大好きなお母さんの鼻と同じように長いんだ立派なんだぞ」といばって答えているのです。そこには、この歌を作った故まど・みちおさんの考えがあり「象が象に生まれたことを誇りに思い、すばらしいと思っている」からだそうです。まどさんの自然に対する考え方は、この世の中にいる草や木・虫・動物・生き物すべてが「自分が自分であること」を誇りとし、喜んでいるというのが故まど・みちよさんの考え方です。もちろん、私たち人間もそうです。生き物すべてがそうですが、私たち人間もそれぞれに違いがあり、個性があるから意味があり、すばらしいと思われれます。違うものたちがその違いを生かして、助け合うこと、支え合うことが最も大事なことです。違いを尊重し、違いを生かしてお互いに生きていくことの価値を亡くなったまど・みちおさんは教えてくれました。ここに、ご冥福を心からお祈りいたします。



<2014 献血キャンペーン報告>

3月26日(金) 牧野駅前献血チラシ配布



3月29日(土) 献血キャンペーン 牧野生涯学習市民センター



受付数 75名
採血数 58名
400ml 44名
200ml 14名

多数のご参加・ご協力頂きありがとうございました

社会奉仕委員会

ニコニコ箱	合計 ¥23,840	累計 ¥971,640
-------	------------	-------------

ニコニコ箱メッセージ(敬称略・順不同)

- *枚方RC・くずはRC合同ゴルフコンペ開催時の
会費残金ニコニコへ ゴルフ同好会より
- *気仙沼RC・くずはRC交流会残金ニコニコへ
交流会参加者一同より

第1903回例会出席報告 (3月26日)		
総会員数	出席者	出席率
52名	31名	65.31%
第1900回 例会補正後 出席率 75.00%		
メイク 8名 欠席 16名 除外 4名		

第1904回春季家族例会出席報告 (4月5日)		
総会員数	出席者	出席率
52名	17名	41.46%
参加ご家族 20名		
第1901回 例会補正後 出席率75.51%		
メイク 6名 欠席 12名 除外 3名		

**第4回「七つ星歩く会」報告
2014.3.22 (土)**



出町柳、金閣寺、北野天満宮等をウォーキング
参加者(敬称略): 日野、北村、中谷静雄、上山、上野

**2014年4月の
ロータリーレート 1\$=102円**

○本日の配布物

- ①4月9日週報
- ②ロータリーの友4月号
- ③わらしべと共に歩む会会報

○本日の回覧物

- ①4月出席予定確認表
- ②ガバナ一月信4月号

○地区行事等出席報告

- 3/26 牧野駅前チラン配布
日野、岩本、北川、小北、三木、森川、中谷静雄、
嶋田、高島 9名
- 3/29 PETS地区合同研修セミナー
原田、初木、林宏毅、木崎
- 3/29 長尾駅前時計台寄贈式
原田、畠中、初木、日野、稲田、北村、北川、小北、
南、宮田、中野、中谷静雄、岡山、橘、上野、
山口尚志、山中 17名
- 3/29 献血キャンペーン
日野、岩本、金森、北村、北川、小北、森川、
中谷静雄、嶋田、高島、上山、上野 12名
- 4/5 交通安全パレード
初木、日野、駕田、金森、北村、北川、小北、
南、白井、橘、高島 11名
- 4/7 樟葉駅早朝キャンペーン
原、初木、日野、岩本、駕田、金森、北村、
北川、小北、三木、南、中谷静雄、嶋田、橘、
高島、上野、山中 17名

○地区行事等出席予定

- 4/19 次年度の為の地区協議会
原田、岡山、白井、上山、林宏毅、稲田、初木、
田中、米田、山口尚志、金森
- 4/26 社会奉仕新旧委員長会議
木崎、嶋田、稲田
- 5/10 職業奉仕新旧委員長会議・反省会
國田、米田、林宏毅

○メイクアップ

- 4/1 今中七郎会員 枚方RC
- 4/2 西田英夫会員 大阪城北RC



発行 **KUZUHA ROTARY CLUB**

国際ロータリー 第2660地区
創立：1974年5月30日 承認：1974年6月25日
クラブ名称変更承認：2005年6月 6日
会 長 北川 順清
広報委員長 山本 一郎

大阪府枚方市楠葉花園町14-2
樟葉パブリックゴルフ クラブハウス2F
電話 072-855-5125
FAX 072-855-5180

Email: kuzuha-rc@kcat.zaq.ne.jp
URL: <http://www.kcat.zaq.ne.jp/kuzuha-rc/>